

ART LETTER

10周年
特別号

情報誌アートレター

発行: (公財) 目黒区芸術文化振興財団
〒152-0023 目黒区八雲1-1-1 めぐるパーシモンホール内
TEL: 03-5701-2937 (代表) FAX: 03-5701-2068

めぐるパーシモンホール

www.persimmon.or.jp

2012.9.16



めぐるパーシモンホールは、おかげさまで10周年をむかえました。

10th
Anniversary



特集 10周年

めぐろパーシモンホールは開館10周年を迎えます。

開館以来めぐろパーシモンホールは、多くの皆さまに支えられてきました。

そこで、これまでホールの歴史を刻んでいただいた方々からメッセージをいただきました。



能楽師

梅若 玄祥

Gensho Umewaka

能楽シテ方観世流、五十六世梅若家当主、重要無形文化財(総合)指定保持者、日本芸術院会員。2005年7月16日、パーシモンホールの舞台を踏む。その後梅若六郎の名跡で3回、玄祥に改め1回登場。2012年夏、「夏のめぐろろうそく能と狂言」にて再びその姿を披露した。

この度、音楽の殿堂・めぐろパーシモンホールが開館十周年を迎えますこと、心よりお慶び申し上げます。また、開館十周年の記念事業の一つに「夏のめぐろろうそく能と狂言」を取り上げて頂きましたこと、能楽の普及に取り組む者の一人として、心より感謝申し上げます。

私ども梅若一門は戦前より、劇場能に取り組んで参りました。多くのお客様方に日本の伝統文化を代表する能楽をお楽しみ頂くために、分かり易い上演演目を選びお楽しみ頂けるよう配慮して参りました。

めぐろパーシモンホールにおかれましても、徐々に能・狂言を楽しむファンが定着してきていると聞き及んでおります。これからも楽しく、美しい能・狂言をお目に掛けたく思います。

めぐろパーシモンホールの益々の発展と隆昌を祈念し、開館十周年の記念公演を祝意を込め務めさせていただきますことを申し上げ祝辞とさせていただきます。



バリトン歌手

畑中 良輔

Ryosuke Hatanaka

バリトン歌手。合唱指揮者・音楽評論家・作曲家、日本芸術院会員。東京芸術大学名誉教授。初代新国立劇場芸術監督を歴任。日本オペラのバイオニアとして活躍。パーシモンホールオープニングコンサートから足を運び、2年前の東邦音大の「フィガロの結婚」でモーツァルトオペラを実現。2012年2月、パーシモンホール開館10周年記念公演第1弾として、「魔笛」を公演した。

2012年5月24日、畑中良輔氏は間質性肺炎のためお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。なお、畑中氏には生前パーシモンホールが大変お世話になり、開館10周年のお祝いに次のメッセージを寄せてくださいました。

〈育て!パーシモンのモーツァルト〉

「今度、都立大跡にホールが建つらしい」「へえ、何という名の?」「パーシモン・ホールだって」「パーシモン?どういう意味?」「さあ...?」すると、隣席の人が「それは《柿》ですよ。あそこは柿の木坂ですから」「あ、柿の木坂ねえ! (なるほど、でも外国でも柿はカキじゃないの?)」

さて、初めてこのホールに出向いた時のことは忘れもしない。もっと駅から近いと思っていたが、開演に遅れそうになり途中から走った。ゆるやかなあの坂が、何とも胸突き八丁。ヒイヒイ言いながら開演に間に合って、若杉弘君のモーツァルトのオペラ序曲が始まった。まだ胸の動悸が治まらない。しかし耳に入ってきたモーツァルトの何と軽やかな、

そして流麗な音は、瞬間ウィーンのムジークフェラインの音を思い出させた。

このホールこそ、モーツァルトのために建てられたのだ!このホールでモーツァルトのオペラが上演出来たら...という私の願いは、2年前の東邦音大「フィガロの結婚」で実現された。そして今回の「魔笛」でも輝かしいモーツァルトが愉しめるだろう。育ってゆけ柿の木よ!



指揮者

広上 淳一

Junichi Hirokami

1984年「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」で優勝し、国際的な活動を開始。1991年～95年ノール・シピン・グ響首席指揮者、91年～00年日本フィル正指揮者、98年～00年リンブルグ響首席指揮者、06年～08年コロソバ響音楽監督を歴任する傍ら、フランス国立響、ベルリン放送響、ウィーン響、モントリオール響、ロンドン響など欧米各地のオーケストラに客演。絶賛を博す。2008年から京都市交響楽団常任指揮者。目黒区ゆかりの日本を代表する世界的な指揮者であり、後継の育成にも尽力している。パーシモンホールには、フレッシュ・名曲コンサート、第九を初めとして多数出演。開館10周年記念公演では、NHK交響楽団との共演を果たすことになっている。

めぐろパーシモンホール開館10周年、おめでとうございます。

同ホールでは2005年9月に新日本フィルとモーツァルトの夕べを、2011年11月には日本フィルと区民の合唱団の皆様とベートーヴェンの第九を演奏する機会を持つことができました。合唱団の皆さんの熱心な取り組みは、芸術文化への関心の高さを伺えるものがありました。

めぐろパーシモンホールは大変響きのよいホールで、気持ちよく演奏できるホールの一つと言えます。2013年1月にはNHK交響楽団とニューイヤークンサートを予定していますが、3度目の演奏を楽しみにしています。

これからも目黒区の芸術文化の発信地として、

ますます素晴らしいホールになることを期待しています。



ピアニスト

白石 光隆

Mitsutaka Shiraisbi

1989年東京芸術大学大学院を修了後、ジュリアード音楽院へ進学。1990年ジーナ・バッカウアー国際奨学金コンクール入賞。アメリカ留学中に幅広く活躍し、帰国後も圧倒的なリズム感と、生き生きと、説得力のある演奏スタイルでファンを増やし続けており、正に次代を担う実力派ピアニストである。また、目黒区ゆかりのアーティストとして、めぐろパーシモンホールの公演にも数多く出演。現在は、積極的に音楽活動を展開しながら、東京芸術大学ピアノ科非常勤講師を勤め、後継の育成にも尽力している。めぐろアートウィークを初め、パーシモンホールの舞台に多数出演。開館10周年記念公演の「ふれあいトリオコンサート」に出演予定である。



ジャズ・ピアニスト

山中 千尋

Chibiro Yamanaka

桐朋学園大学音楽学部を経て、名門パークリー音楽大学を首席で卒業。第23回日本ゴールドディスク大賞を初め、権威ある賞を多数受賞。名門レーベルDeccaから全米デビューを果たしたジャズ・ピアニスト・山中千尋が初のホール・ツアーを開催する。卓抜した技術と情熱的なプレイを、東京唯一の会場となるめぐろパーシモンホールで披露する。



歌手

アン・サリー

Ann Sally

2002年から3年間ニューオーリンズに医学研究のため暮らし、地元の音楽家と現地で収録した音源をアルバム「Brand-New Orleans」として発表。帰国後、医師としての勤務の傍ら日本全国でライブ活動を重ねる。2010年末に最新作「fo:rest」を発表。洋の東西を問わず新旧の名曲をオリジナルに昇華した情感あふれる歌唱と、そのナチュラルなライブスタイルは幅広く支持される。



ピアニスト

北村 朋幹

Tomoki Kitamura

1991年愛知県生まれ。3歳よりピアノを始め、数々のコンクールで受賞。これまで国内外でリサイタルを行い、主要オーケストラと共演している。当ホールでは、2006年大ホールでのアフタヌーンコンサート、07年には下野竜也氏の指揮で読売日本交響楽団と共演、11年「未来の音シリーズ」に出演している。2011年にはソロ・デビューCDが発売された。2011年よりベルリン芸術大学に在学。ライナー・ベッカー、伊藤恵の各氏に師事。

私が育った目黒区。都立大学が移転し、あの大きな跡地「八雲1の1の1」は一体どうなるのだろうと思っていたら、かくも立派なアートキャンパスが誕生し、心躍る思いがしたことを鮮明に覚えています。10周年おめでとうございます。素晴らしいお客様と音響に囲まれて、いつも想いと力を出し切ることができます。

2010年バレンタインデーに開催されたコンサートは、特別忘れがたいものです。様々なイベントが盛り込まれた一連のプログラムを支えたのは、スタッフの方々。時間やアイデアを要する準備を快く引き受けてくださり、有難いことでした。

全国の公共ホールで演奏していますが、スタッフの方々の体温がそのホールを、ひいては地域文

このたびはめぐろパーシモンホール10周年誠におめでとうございます。

記念事業のコンサートに出演させて頂けますことを大変光栄に思います。

おかげさまでCDデビューから10周年を迎えることができました。また新たな一歩をここから始められますことを心から楽しみにしております。めぐろパーシモンホールの素晴らしい音環境で、ジャズの息吹きを存分に味わって頂ければ幸いです。

10周年誠におめでとうございます。

歌手として同じく10年の歩みの中で、パーシモンにはこれまで3度出演させていただきましたが、緑に囲まれた丘の上での上質なリラックス空間で、ライブのシリーズ名通り「ゆったり」と演奏を楽しませていただきました。アルバムリリースやクリスマスなどの大切な時期にライブをさせていただいたので、多くの方がライブを待って下さっていることを肌で実感できた、思い出の深い会場でもあります。

この度は開館10周年を迎えられたとの事、おめでとうございます。僕が初めて演奏させていただいたのは確か、2006年8月のこと。それ以来、協奏曲にリサイタルとお世話になりました。

特に昨年秋のリサイタルは、ベートーヴェンと近代曲を組み合わせるという、個人的にかなりの挑戦であった上に、ちょうどベルリンに留学してだったという事もあり、色々な事が不安になっていたりもしたのですが、本番の朝、都立大学の駅から歩いていると、数年前も同じように緊張で震えながら、同じ道を歩いた事を思い出し、

化を左右していると感じることがしばしばあります。めぐろパーシモンホールがその求心力で人と人を、また人と芸術を結びつけ創造されますよう、ますますのご発展をお祈りしています。

ホールの持ち味がこれからどのようになるのか楽しみです。

パーシモン、おいしくなあれ!

これからも、都会のオアシスとして上質な音が創られる空間であることを願っています。

当時自分が「まるでピアニストのように」演奏会の機会を頂く事自体が全く信じられなかったのですが、それがまだ続けられている有難さというものを、改めて感じました。

それがどんな場所であれ、自分の演奏会の記憶は忘れられないものだと思うのですが、このように何年も前からの思い出があるホールというのは、個人的にとっても嬉しく、これからもまた色々な思い出が作っていったら幸せだな、と思っています。

めぐろパーシモンホール 10年の歩み

めぐろパーシモンホールでは、
さまざまなシリーズ公演をお届けしてきました。
代表的なシリーズをご紹介します。

フレッシュ名曲コンサート



若手演奏家の育成と、地域の方々に気軽にクラシック音楽に親しんでいただくことを目的としたシリーズ。

▶04/3/20
松沼俊彦(指揮)、小山実稚恵(ピアノ)、東京交響楽団

▶05/2/5
アレクサンドル・ラザレフ(指揮)、犬飼新之介(ピアノ)
読売日本交響楽団



▶05/9/22
広上淳一(指揮)
白木あい(ソプラノ)
高野二郎(テノール)
上野由恵(フルート)
篠崎和子(ハーブ)
新日本フィルハーモニー交響楽

▶07/1/7
下野竜也(指揮)、北村朋幹(ピアノ)、読売日本交響楽団

▶08/3/30
北原幸男(指揮)、瀧村依里(ヴァイオリン)
新日本フィルハーモニー交響楽団

▶09/3/1
下野竜也(指揮)、文屋小百合(ソプラノ)
川久保賜紀(ヴァイオリン)、読売日本交響楽団

▶10/1/31
現田茂夫(指揮)、石井楓子(ピアノ)、読売日本交響楽団



▶11/3/6
下野竜也(指揮)
吉野直子(ハーブ)
押部朋子(フルート)
新日本フィルハーモニー交響楽団

▶12/1/29
ミハイル・レオンティエフ(指揮)
二瓶真悠(ヴァイオリン)、読売日本交響楽団



これがオペラだ



歌と語りをつづる名作オペラの世界。

本シリーズでは二期会の協力のもと、オペラの魅力オペラとは何かを紐解く、めぐろパーシモンホールの大人気シリーズ。

これがオペラだ

- ▶第1回 05/5/21 ビゼー カルメン
- ▶第2回 05/6/18 プッチーニ ラ・ボエーム
- ▶第3回 05/7/23 ガーシュウィン ボーギーとベス

これがオペラだII

- ▶第1回 06/6/10 ヴェルディ 椿姫
- ▶第2回 06/7/15 プッチーニ 蝶々夫人
- ▶第3回 06/8/12 ヴェルディ リゴレット

これがオペラだIII

- ▶第1回 07/6/15・16 モーツァルト コシ・ファン・トゥツテ
- ▶第2回 07/7/20・21 プッチーニ トスカ
- ▶第3回 07/9/21・22 ドニゼッティ 愛の妙薬

これがオペラだIV

- ▶第1回 08/5/17・18 ロッシーニ セヴィリアの理髪師
- ▶第2回 08/6/14・15 レハール メリー・ウイッド
- ▶第3回 08/7/19・20 ファン・ベニング ヘンゼルとグレーテル

これがオペラだV

- ▶第1回 09/5/16・17 モーツァルト フィガロの結婚
- ▶第2回 09/6/13・14 J・シュトラウスII こうもり
- ▶第3回 09/7/18・19 團伊玖磨 夕鶴

これがオペラだVI

- ▶第1回 10/5/22・23 ヴェルディ 椿姫
- ▶第2回 10/6/26・27 プッチーニ 蝶々夫人
- ▶第3回 10/7/17・18 モーツァルト 魔笛



これがオペラだVII

- ▶第1回 11/5/28・29 プッチーニ トゥーランドット
- ▶第2回 11/6/25・26 レハール メリー・ウイッド
- ▶第3回 11/7/23・24 プッチーニ トスカ



楽器のひみつ



テーマとなる楽器を演奏とお話で紹介するシリーズ。

楽器のひみつ

- ▶第1回「ヴァイオリンの二大名器」05/1/22 徳永二男(ヴァイオリン)、林絵里(ピアノ)
- ▶第2回「フルート」05/2/12 有田正広(フルート)、有田千代子(チェンバロ)
- ▶第3回「声」05/3/26 緑川まり(ソプラノ)、吉田浩之(テノール)、緑川み(ピアノ)

楽器のひみつII

- ▶第1回「ヴァイオリン超絶技巧」06/1/28 徳永二男(ヴァイオリン)、林絵里(ピアノ)
- ▶第2回「木管楽器」06/2/25 高木綾子(フルート)、吉部賢一(オーボエ)、西脇千花(ピアノ)
- ▶第3回「パーカッション」06/3/25 百瀬和紀と東京パーカッションクラブ

楽器のひみつIII

- ▶第1回「チェロ・アンサンブル」07/1/20 スーパー・チェロ・アンサンブル・トウキョウ
- ▶第2回「トランペット」07/2/10 アレクセイ・カレフ(トランペット)、佐藤勝重(ピアノ)
- ▶第3回「弦楽合奏〜ワルツ・ポルカ」07/3/24 アンサンブル・ヴァルツェン

楽器のひみつIV

- ▶第1回「ヴァイオリン〜弓」08/1/26 徳永二男(ヴァイオリン)、林絵里(ピアノ)
- ▶第2回「チェンバロとピアノ」08/2/16 小林道夫(チェンバロ、ピアノ)
- ▶第3回「二胡」08/3/15 姜建華(二胡)、楊宝元(中国琵琶)

楽器のひみつV

- ▶第1回「ヴァイオリン〜楽器と弓」09/1/17 徳永二男(ヴァイオリン)、林絵里(ピアノ)
- ▶第2回「二台のギター」09/2/11 鈴木大介(ギター)、大萩康司(ギター)
- ▶第3回「ハーブ」09/3/21 吉野直子(ハーブ)

楽器のひみつVI

- ▶第1回「ヴァイオリン〜ストラディヴァリ」10/1/16 徳永二男(ヴァイオリン)、林絵里(ピアノ)
- ▶第2回「フォルテピアノからモダン・ピアノへ」10/2/27 菊池洋子(ピアノ)
- ▶第3回「太鼓のひみつ」10/3/13 百瀬和紀と東京パーカッションクラブ、英助Wind Ensemble

楽器のひみつVII

- ▶第1回「バロック&モダン・ヴァイオリン」11/1/15 佐藤俊介(ヴァイオリン)、今西泰彦(ピアノ)
- ▶第2回「サクソス四重奏」11/2/12 雲井雅人サクソス四重奏団
- ▶第3回「ヴァイオリンとヴィオラ」11/3/12 川崎雅夫(ヴァイオリン/ヴィオラ)、川崎洋介(ヴァイオリン)

楽器のひみつVIII

- ▶第1回「リコーダー」12/1/28 金子健治(リコーダー)、安井敬(リコーダー)
- 甲斐万喜子(ピアノ)、山下由紀子(パーカッション)
- ▶第2回「ヴァイオリンとフォルテピアノ」12/2/18 佐藤俊介(ヴァイオリン)
- クリスティーネ・ショルンスハイム(フォルテピアノ)
- ▶第3回「ニューヨーク生まれのスタインウェイ」12/3/10 江口玲(ピアノ)



ニューイヤーシリーズ



華やいだ雰囲気の中、新しい年の出発にふさわしいコンサートをお届けしています。

ニューイヤーコンサート2004

▶04/1/7
下野竜也(指揮)、長原幸太(ヴァイオリン)
東京都交響楽団、樋田由美子(司会)

ニューイヤーコンサート2005

▶05/1/8
沼尻竜典(指揮)、鶴本絵里(ソプラノ)
トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ

ニューイヤーJAZZ 2006

▶06/1/7
原信夫とシャープス&フラッツ
宮間利之とニューハード、雪村いづみ

ニューイヤーコンサート2007

▶07/1/7
下野竜也(指揮)、北村朋幹(ピアノ)、読売日本交響楽団

ニューイヤーJAZZ 2008

▶08/1/13
森寿男&ブルーコート、香西かおり

ニューイヤーJAZZ&ラテン 2010

▶10/1/9
原信夫とシャープス&フラッツ
見砂和照と東京キューバンボーイズ

ニューイヤーJAZZ 2011

▶11/1/8
熱帯ジャズ楽団、マリーン

ニューイヤーJAZZ 2012

▶12/1/14
熱帯ジャズ楽団、マリーン



新春初笑い 桂歌丸・春風亭小朝 二人会

▶05/1/14
桂歌丸、春風亭小朝

林家こぶ平改メ

九代林家正蔵襲名 特選落語名人会

▶06/1/13
林家正蔵、桂三枝、春風亭小朝、三笑亭夢乃助
翁家勝丸(太神楽曲芸)

新春初笑い 小朝・昇太・花緑 三人会

▶07/1/12
春風亭小朝、春風亭昇太、柳家花緑

木久蔵改メ初代林家木久扇
きくお改メ二代目林家木久蔵
親子W襲名披露興行
特選落語会



▶08/1/11
林家木久扇、林家木久蔵
三遊亭楽太郎、春風亭小朝

新春初笑い 楽太郎・小朝 二人会

▶09/1/9
三遊亭楽太郎、春風亭小朝

新春初笑い 林家木久扇・春風亭小朝 二人会

▶10/1/7
林家木久扇、春風亭小朝

桂ざこば・春風亭小朝 東西落語名人会

▶11/1/6
桂ざこば、春風亭小朝

新春初笑い 林家木久扇・春風亭小朝 二人会

▶12/1/11
桂歌丸、春風亭小朝

未来の音シリーズ

これからの時代を響かせる若手演奏家の「今」を聴くシリーズ。

- ▶vol.1 07/11/4 難波薫(フルート)
- ▶vol.2 07/12/22 小野明子(ヴァイオリン)
- ▶vol.3 08/1/19 三浦友理恵(ピアノ)
- ▶vol.4 08/10/4 鈴木康浩(ヴィオラ)
- ▶vol.5 08/11/15 広瀬悦子(ピアノ)
- ▶vol.6 08/12/20 郷古麻(ヴァイオリン)
- ▶vol.7 09/10/10 須藤千晴(ピアノ)
- ▶vol.8 09/11/14 山上ジョアン薫(チェロ)
- ▶vol.9 09/12/17 松田理奈(ヴァイオリン)
- ▶vol.10 10/3/20 三浦一馬(バンドネオン)
- ▶vol.11 10/10/2 木村大(ギター)
- ▶vol.12 10/11/3 田村響(ピアノ)
- ▶vol.13 10/12/18 正戸里佳(ヴァイオリン)
- ▶vol.14 11/9/17 横坂源(チェロ)
- ▶vol.15 11/11/5 北村朋幹(ピアノ)
- ▶vol.16 11/12/17 ウェールズ弦楽四重奏団



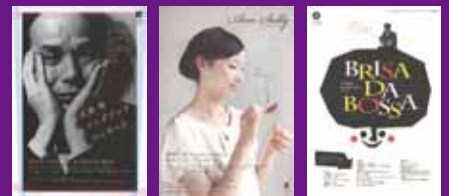
落語

新しい年を笑って迎えよう。めぐろパーシモンホールで新春に毎年開催されている落語シリーズ。

ゆったりライブの旅

ジャズ/ボサノヴァ/ワールド/シンガーソングライターなど、ジャンルを超えてひとつの空気感でつながる自然体の音楽を楽しむシリーズ。

- ▶vol.1 08/2/8 中村善郎 ボサノヴァ・ライブ
- ▶vol.2 08/3/8 noonライブ
- ▶vol.3 08/12/5 中島ノブユキ「24のプレリュードとフーガ」
- ▶vol.4 09/8/8 PAN CAKEライブ
- ▶vol.5 09/9/26 Ann Sallyアン・サリー ライヴ
- ▶vol.6 09/12/5 神武夏子×藤富保男 「サティとフランス6人組×詩を奏でる」
- ▶vol.7 10/5/15 Saigenji サイゲンジライブ
- ▶vol.8 10/9/4 naomi & goro「afternoon bossa nova live」
- ▶vol.9 11/10/10 藤本一馬「SUN DANCE」
- ▶vol.10 11/11/19 ショーロクラブwithヴォーカリスト 「武満徹ソングブックコンサート」
- ▶vol.11 12/2/11 吉田慶子×笹子重治 「吉田慶子、ナラ・レオンを歌う」



めぐろで第九

3年に1度開催される、区民を中心に結成された合唱団による「第九」演奏会。めぐろパーシモンホールだからこそ実現できるスケールで“歓喜の歌”が響き渡ります。



- ▶02/12/1 山本訓久(指揮) 02年第九合唱団 目黒区民交響楽団
- ▶05/12/4 山本訓久(指揮) 05年第九合唱団 目黒区民交響楽団
- ▶08/11/30 沼尻竜典(指揮) 08年第九合唱団 日本フィルハーモニー交響楽団
- ▶11/11/27 広上淳一(指揮) 11年第九合唱団 日本フィルハーモニー交響楽団

この他にもめぐろパーシモンホールでは、区民キャンパス地下1階プラザで行われる観覧無料のプラザライブ、0歳から楽しめる演奏会、目黒ゆかりの谷桃子バレエ団の公演など、シリーズ公演以外にも、地域の皆さまに喜んで頂ける公演を提供してまいりました。



ワークショップ& アウトリーチプログラム

スティールドラム
ワークショップ

めぐろパーシモンホールでは、未来への可能性を秘めた子どもたちを何よりも大切に思い、ワークショップやアウトリーチプログラムを開催してきました。
この事業は、未来への投資です。どれ程の成果が得られるのか、それは全くの未知数です。
ですが、少しでも子どもたちの可能性の芽を開くことが出来る…
そう信じ、これからも多くの方々の協力を得ながら進めていきたいと願っています。
今回の特別号では、そんな子どもたちの記録をご紹介します。



屏風と音楽
「音と絵のワークショップ」

平田オリザによる
演劇ワークショップ



ダンスワークショップ

アウトリーチプログラムとは？

アウトリーチとは、アーティスト自身が学校などにいる子どもたちの元へ出向き、生の演奏や歌を披露し、共に時間を過ごすプログラムです。
めぐろパーシモンホールでは2006年度から始まり、2011年度までに累計でおよそ80回のアウトリーチ活動を行ってきました。このアウトリーチでオペラ歌手の生の歌を間近で聴いた生徒の中には、その後オペラ歌手を目指したという逸話があります！

パーシモン・パレット・プログラム

めぐろパーシモンホールは、小学生から高校生までを対象とした、演劇や楽器、ダンスなどの夏休み限定のワークショップを開催してきました。
名称も“ティーンズ・プログラム”から“パレット・プログラム”と変化し、このワークショップでしか味わうことの出来ない貴重な時間を提供しています。

年度	公演名	講師
2006	演劇ワークショップ	平田オリザ(劇作家/演出家/青年団主宰) 柏木陽(演出家/演劇百貨店主宰)
	ダンスワークショップ	伊藤千枝(珍しいキノコ舞踊団)
2007	演劇ワークショップ	平田オリザ(劇作家/演出家/青年団主宰) 明神慈(劇作家/演出家/ホカリン記憶舎舎長)
	ダンスワークショップ	伊藤千枝(珍しいキノコ舞踊団)
2008	演劇ワークショップ	平田オリザ(劇作家/演出家/青年団主宰)
	ダンスワークショップ	伊藤千枝(珍しいキノコ舞踊団) ほか
2009	演劇ワークショップ	平田オリザ(劇作家/演出家/青年団主宰) 柴幸男(劇作家/演出家)
	ダンスワークショップ	伊藤千枝、山田郷美(珍しいキノコ舞踊団)
	楽器ワークショップ	山口とも(打楽器奏者)
2010	演劇ワークショップ	平田オリザ(劇作家/演出家/青年団主宰) 工藤千夏(劇作家/演出家/うさぎ庵主宰)
	ダンスワークショップ	伊藤千枝(珍しいキノコ舞踊団) ほか
	楽器ワークショップ	櫻田素子(ガムラン奏者) ほか
2011	演劇ワークショップ	平田オリザ(劇作家/演出家/青年団主宰) 多田淳之介(演出家/東京デスロック主宰)
	ダンスワークショップ	KENTARO!!(ダンサー/振付家)
	楽器ワークショップ	櫻田素子(ガムラン奏者) ほか
2012	演劇ワークショップ	平田オリザ(劇作家/演出家/青年団主宰) 吉田小夏(演出家/青☆組主宰)
	ダンスワークショップ	KENTARO!!(ダンサー/振付家) ほか
	楽器ワークショップ	櫻田素子(ガムラン奏者) ほか

弦楽アンサンブル

講師:八下田一雄

(元 東京都交響楽団コンサートマスター)ほか

当初はティーンズ・プログラムの一つとして始まった弦楽アンサンブル。ワークショップシリーズの中で唯一の長期プログラムです。2006年から2012年まで7年間続きましたが、惜しまれつつ2012年6月の演奏会を最後にお休みすることになりました。しかし、近い将来復活させたいと職員一同強く願っています。



その他のワークショップ

シリーズもののワークショップ以外にも、めぐろパーシモンホールでは数多くのワークショップを開催してきました。



大友良英・ポータブルオーケストラ

演劇ワークショップ



屏風と音楽
「音と絵のワークショップ」作品展示



公演日	公演名	講師
2004年度		
8/7・8	歌舞伎囃子ワークショップ	歌舞伎囃子方:望月太左一郎 ほか
8/21・22	吹奏楽クリニック	日本フィルハーモニー交響楽団
8/26	スティールドラムワークショップ	カリビアン・マジック・スティールドラム・オーケストラ
8/28・29	ポータブルオーケストラワークショップ	大友良英(ターンテーブル奏者/ギタリスト/作曲家) ほか
2005年度		
9/16・19・24	梅若猶彦 「能レクチャー&デモンストレーション」	梅若猶彦(能楽師)
12/13・14	ステージマネージャー体験講座	早坂正樹(フリー・ステージマネージャー)
1/20~22	コンドルズのダンス・ワークショップ	近藤良平(コンドルズ) ほか
2/18・19	西川箕乃助による 「日本舞踊レクチャー& デモンストレーション」	五代目 西川箕乃助
2006年度		
7/25	音づくりワークショップ ともものおとのもと	山口とも(打楽器奏者)
8/20	「エルマーと16びきのりゅう」 人形づくりワークショップ& バックステージツアー	人形劇団ブーク
2007年度		
	すがぼんのマイムワークショップ	須賀令奈(水と油)
2008年度		
8/17・31・9/14	体弦する音のハーモニー 親子で楽しむ ヴァイオリンワークショップ&コンサート	音楽教室スズキ・メソッド (社)指教育研究会講師
1/24・25・31	陽・残・誠演劇ワークショップ	柏木陽(演出家/演劇百貨店主宰) 山下残(振付家/ダンサー) 野村誠(作曲家)
7/26	「ロバの音楽座と空想楽器をつくろう」	ロバの音楽座
2011年度		
9/11・23・10/2	「屏風と音楽」関連ワークショップ 「音と絵のワークショップ」	榎本寿紀(目黒区美術館ワークショップ・エデュケーター)
11/19	屏風を「観る」	花田美穂、沖田友紀(米沢氏上杉博物館学芸員)

区民キャンパス写真館



1 柿(英語名:persimmon パーシモン)の木

全国を探してやっと見つけた柿の原種。普通の柿の木と違い、株立ち(株の部分がいくつも分かれて伸びている)という大きな特徴を持っています。めぐろパーシモンホールを象徴する樹木です。でも、実は…鳥もついでに採りやすいのです!

2 大ホールホワイエの床

地味なところで一つ…こちらの床材“桜の木”を使用しています。桜の特徴は、節が少なく、見た目が薄い桜色をしており非常に美しい。その上非常に硬いので、傷がつきにくいのです。大ホールホワイエで一息つく際には、桜を思い出してみてください。

3 ミウラ折り

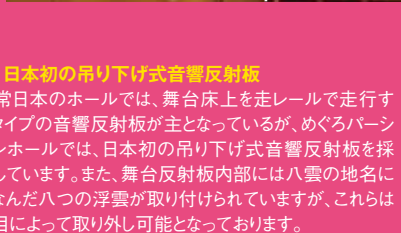
みなさん、めぐろパーシモンホールが米航空宇宙局(NASA)の技術を採用していることをご存知ですか?その名も“ミウラ折り”。この“ミウラ折り”とは、1970年に宇宙科学研究所の三浦公亮(現 東大名誉教授)が考案した折り畳み方です。人工衛星のパネルの展開方法を研究する過程で生み出され、現在、さまざまな分野でその応用技術が用いられています。パーシモンホールでは天井の吸音盤(舞台から出た音をさまざまな方向へ分散させる)として用いました。このミウラ折り、高低差はなんと50cmもあるんですよ!

4 メーブルの秘密

ホールの中ではさまざまな音が響き渡ります。その音は壁や天井にぶつかり反射するわけですが、その音の反射を防ぎ、聴衆に心地よい音を届けるため、色々な工夫がなされています。その一つがメーブルの木を使用した壁です。壁面を凸凹にすることで音を吸収し反射を防ぐのです。デザインされたかのように存在している壁ですが、実はそんな理由が隠されていました。

5 八雲シャンデリア

大ホールで演奏を聴く時、舞台天井から吊られているシャンデリアに目を惹かれます。実はこのシャンデリアには“八雲シャンデリア”という名が付けられており、地名にちなんで八雲をイメージして制作されました。大空の中をたくさんの雲が優雅に浮かんでいる様が想像出来ませんか?光輝く時、その姿は一層美しく素敵な演奏に華を添えてくれます。



6 日本初の吊り下げ式音響反射板

通常日本のホールでは、舞台床上を走レールで走行するタイプの音響反射板が主となっているが、めぐろパーシモンホールでは、日本初の吊り下げ式音響反射板を採用しています。また、舞台反射板内部には八雲の地名にちなんで八つの浮雲が取り付けられていますが、これらは演目によって取り外し可能となっております。

7 大ホール緞帳

目黒区はかつて全国でも指折りの筒の産地でした。それを表現して造られたのが大ホールの緞帳です。“翠明”と表題のついた緞帳は、西陣織で折られた美しい竹藪が表現されています。

めぐろパーシモンホール開館10周年記念公演

公演日	会場	公演名
本公演 7/6~8 (プレビュー 7/1~5)	大ホール	ミュージカル ミス・サイゴン
8/5	大ホール	夏のめぐろろうそく能と狂言 狂言「末広かり」 能「石橋」
9/15	大ホール	山中千尋トリオJAZZライブ
10/7	大ホール	めぐろパーシモンホール 開館10周年記念コンサート
10/8	大ホール	めぐろ芸術文化ネットワークシリーズ1 東山オーケストラ特別演奏会
10/14	大ホール	めぐろ芸術文化ネットワークシリーズ2 第19回めぐろ童謡コンサート
10/26	大ホール	エイミー・ハナイアライ Japan Tour 2012
10/26、27	小ホール	加藤訓子(パーカッショニスト) kuniko plays reich
10/28	大ホール	柳家小三治一門会
11/3、4	大ホール	ゆったりライブの旅・フェスティバル2012

公演日	会場	公演名
11/17	大ホール	2012「日中国民交流友好年」認定事業 オーケストラアジア日本公演
11/24	大ホール	ふれあいトリオコンサート
11/25	大ホール	めぐろ芸術文化ネットワークシリーズ3 目黒区民交響楽団特別演奏会
12/4	大ホール	立川志の輔独演会
12/8	大ホール	めぐろ芸術文化ネットワークシリーズ4 ヤマハ目黒吹奏楽団特別演奏会
12/23	大ホール	めぐろ芸術文化ネットワークシリーズ5 目黒区クラシック音楽家協会クリスマスコンサート
2013/1/6	大ホール	NHK交響楽団ニューイヤーコンサート
2013/1/10	大ホール	新春落語
2013/3/2	大ホール	未来の音シリーズ ガラ・コンサート
2013/3/3	大ホール	ストークロ・ローゼンバークトリオ with ティム・クリップハウス来日公演
2013/3/11	小ホール	クラシック音楽に親しむ -東日本大震災鎮魂の気持ちを込めて 「レクイエム」を歌って、コンサートの舞台へ-